

別紙

会 議 記 録 (1)

会議名称	第3回北本市高齢者福祉計画2024・第9期介護保険事業計画策定委員会
開会及び閉会日時	令和5年10月13日(金) 13時30分から14時30分
開催場所	北本市役所 会議室3-B
議長氏名	中村 聡明
出席委員(者)氏名	遠井 美智子 鈴木 洋行 川島 裕代 清宮 尚也 吉岡 敬太 近藤 洋子 中村 聡明 田中 宏幸 小林 美雪 奥山 美穂 新井 めぐみ
欠席委員(者)氏名	関口 明 若山 銀一郎 小川 晃 佐藤 佐
説明者の職氏名	健康推進部 高齢介護課長 佐々木 由美子 高齢者福祉担当 主幹 鈴木 友恵 主任 富田 侑花 介護担当 主幹 山本 理花
事務局職員職氏名	高齢介護課長 佐々木 由美子 高齢者福祉担当 主幹 鈴木 友恵 主任 富田 侑花 介護担当 主幹 山本 理花 主任 高橋 美穂
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 開 会</li> <li>2 あいさつ</li> <li>3 議 題               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 北本市高齢者福祉計画2024・第9期介護保険事業計画(以下、計画)の重点課題について</li> <li>(2) 計画における施策と事業について</li> <li>(3) 計画における介護保険事業量の暫定見込みについて</li> <li>(4) その他</li> </ol> </li> <li>4 閉 会</li> </ol>
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次第</li> <li>・第1部 総論(資料1)</li> <li>・第2回北本市高齢者福祉計画2024・第9期介護保険事業計画策定委員会意見一覧(資料1参考資料)</li> <li>・第2部 各論(資料2)</li> <li>・第3部 介護保険事業量の暫定見込(資料3)</li> <li>・用語解説</li> </ul>



会 議 記 録 (2)

発 言 者	発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
事務局	<p>策定幹事会の中で元号は計画内で統一した方が良いと意見を頂き、反映しました。箇条書きにすることで、見やすさや探しやすさを優先したところです。</p>
田中委員	<p>目標を掲げ、問題点を述べ重点課題への流れは読みやすいですが、重点課題は冒頭にしか出てきません。重点課題と各施策の関連がわかるつくりの方がよいと思います。</p>
委員長	<p>今回の構成は、総論で全体像を述べ、次に各論の中に第1～8章まであり、施策1～8を取り上げています。その中で評価指標を設けています。</p> <p>よろしければ総論を一通り見てから、各論を見ていきたいと思います。他にはいかかでしょうか。</p> <p>特にないようですので、(1)北本市高齢者福祉計画2024・第9期介護保険事業計画（以下、計画）の重点課題については以上とします。続きまして、(2)計画における施策と事業について、事務局の説明を求めます。</p>
事務局	<p>【資料2に基づき前半部分を説明】</p>
委員長	<p>介護予防・健康づくりとあるが、高齢者が多くなり、人口が少なくなり、それに対応する人も少なくなっていくと思います。介護の人を増やさないように対策が必要です。増やさないためには介護予防が必要であり、そのためには、健康づくりの中では健診事業が大切です。健診の受診率がどの程度あるのか、上がっているのか、地域の方に受診が大切だと意識してもらうことが大事です。フレイルやロコモ、サルコペニアについて、周知していく必要があると思います。</p> <p>介護が必要となった原因に転倒・骨折とありますが、骨粗鬆症検診事業が大事です。認知症は早期発見であり、そのためには、まわりの気づきが必要です。骨粗鬆</p>

会 議 記 録 (2)

発 言 者	発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
奥山委員	症検診や長谷川式認知症スケールを健診の項目に入れてはどうでしょうか。
	他に意見等ありますか。
委員長	認知症になってから動き出すことが多いので、健診や地域の健康イベント等で長谷川式をやってはどうか。家族も自然に受け入れられると思います。
	1対1で質問をして点数をつけるので時間がかかりますが、その手間がクリアできればできるのではないのでしょうか。
川島委員	他に意見等ありますか。
	骨粗鬆症検診と長谷川式を特定健診で行うのは素晴らしいと思います。経費的な問題があるのであれば、個人負担をいくらかしてもらいながら普及していく、ということも考えられないのでしょうか。
事務局	検診の担当と進め方について、協議しているところです。今の時点では検診の中に含めるかどうか答えることは難しいですが、協議は進めていきたいと考えています。
委員長	予算措置は議会を通さないといけません。対象を絞ってでもとりあえずスタートさせることが大切だと思います。他に意見等ありますか。
吉岡委員	P5の介護が必要となった原因で、男性では第2位に糖尿病とありますが、こういう方は増えています。独居の方の食生活の乱れがあり、栄養指導が必要ではないでしょうか。
事務局	健康づくり課で糖尿病関連の教室を行っています。保健と介護予防の一体化事業

会 議 記 録 (2)

発 言 者	発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
	<p>で、栄養教室を行っています。また、個別の栄養相談も実施しています。その他、北本健康レシピでは、フレイル予防のレシピを管理栄養士が作成し、簡単にたんぱく質がとれるレシピや糖尿病の予防になるレシピをチラシで配布しています。周知が難しいですが、栄養指導は希望が多いです。今後も栄養指導の強化を図っていきます。個別の対応も担当課と連携して強化を進めていきたいと考えます。</p>
近藤委員	<p>公民館単位や歩いて行ける距離で開催があると広がっていくと思います。</p>
事務局	<p>以前は地区相談があり、保健師や管理栄養士が地区に出向いていました。コロナウイルス感染症対策でできなかった部分は、再開していきたいと思います。</p> <p>長谷川式はハードルが高い方もいるので、ゲーム等で楽しみながら実行する方法を以前はやっていました。認知症予防についても、連携して進めていきたいと思えます。</p>
委員長	<p>他に意見等ありますか。特にないようですので、後半部分について事務局の説明を求めます。</p>
事務局	<p>【資料2に基づき後半部分を説明】</p>
委員長	<p>介護の担い手である若い世代の人口が減っていますが、人生100年時代であり、高齢者でも元気な高齢者はいっぱいいるので、元気な高齢者の方々に参加してもらおうと助かるのではないのでしょうか。資料を市民に公開して、周知をしていくことが人材確保に繋がるのではないのでしょうか。</p>
新井委員	<p>高齢の方が介護に携わる、と聞くと体力を心配します。例えば食事介助や入浴介助等を専門的に勉強し、市に介助者として登録して派遣等できるとよいのではない</p>

会 議 記 録 (2)

発 言 者	発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
委員長	<p>でしょうか。民間のヘルパー会社だけではなく、できる範囲でできることをやる方が増えると資格を持っている人も参加しやすいと思います。。70代、80代でも元気な方がいます。</p>
	<p>他から人材を集めるよりも、元気で過ごされている方の力を借りるというのも一つの案だと思います。年代が近いの方が高齢者の気持ちがわかるかもしれません。現時点では、市で人材を育成するものはあるのでしょうか。</p>
	事務局
<p>本計画で施設と介護者の方へアンケートを行っています。お配りしているアンケート結果のP212訪問系サービスに関しては50代が一番多いですが、次に多いのは70代となっています。市としてもこの結果を受け止めて、働きかけをしたいと考えています。子どもに将来なりたい仕事を聞くと福祉系が出てこないところに問題意識を持っています。県も問題意識を持っており、学生にどう働きかけていくか検討しているところです。親に訴えかけるのも含めて、子どもにもアプローチしていけるとよいと考えています。</p>	
田中委員	
	<p>委員長</p>
	<p>スタートしてみないと良さや必要性はわからないことなので、ハードルを下げて</p>

会 議 記 録 (2)

発 言 者	発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
事務局	やりやすいようにするのは人を集めるには大事な事だと思います。
	認定ヘルパー養成講座は、社協の実施状況はいかがでしょう。
鈴木委員	コロナ禍で中止していましたが、再開もあり得ます。
川島委員	ヘルパー養成講座のハードルを下げて、これならできる、の取次ぎを市でやってもらえるといいと思います。広報誌への掲載や自治会の回覧板で回すなど、窓口になってもらうといいと思います。
清宮委員	今出ている話も社会資源として必要と思います。一方で、介護事業所として考えた時に、ちょっとした介護だけやってもらえる人を介護人材というところまでとなると、長い道のりとなります。直接的な人材の確保には繋がっていきません。本人が働きたいほどの仕事をとるまでにタイムラグがあったり、給料の面で折り合いがつかなかったり、なかなかマッチングが上手くいかないのも難しいところです。認定ヘルパーがデイサービスの介護補助職として働けるとよいのではないのでしょうか。また、認定ヘルパーの先の話として、例えば、初任者研修を受けられたり、研修費用の補助が受けられたりといったキャリアアップの支援を市でも行ってもらえるといいのではないかと思います。
	比較的拘束時間が短いヘルパーについては、お子さんが幼稚園や学校に行っている間の隙間時間で、働きたいという方には向いている仕事と思います。事業所によっては、1件あたりいくら、また、1件だけ行ってほしいなどもあります。このような方達への周知に取り組んでいただけると、マッチングにつながると思います。

会 議 記 録 (2)

発 言 者	発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
委員長	<p>人材確保をして介護福祉を進めていくには、何かを削ってより必要なことに予算をつけるしかないと思います。市議会議員への周知も必要ではないでしょうか。</p> <p>他に質問等ありますか。</p> <p>特にないようですので、(2)計画における施策と事業については以上とします。続きまして、(3)計画における介護保険事業量の暫定見込みについて、事務局の説明を求めます。</p>
事務局	<p>【資料3に基づき説明】</p>
委員長	<p>このことについて質問・意見等ありますか。</p> <p>ないようですので、(3)計画における介護保険事業量の暫定見込みについては以上とします。続きまして、(4)その他について、事務局の説明を求めます。</p>
事務局	<p>【次回日程調整について説明】</p>
委員長	<p>本日の議題は以上で終了とします。進行を事務局に戻します。</p> <p><b>4 閉会</b></p>